

【椎葉民俗芸能博物館 AV機器等改修業務】

プロポーザル評価基準案(配点表)

評価項目	内容	配点
1. 実績・信頼性	- 同種業務の実績数(内容、規模) - 地域社会での活動実績	20点
2. 展示の的確性	- 当館の課題・目的を的確に把握しているか - 提案の方針は博物館の課題を解決するものとなっているか - 仕様書に沿った改修の提案がされているか	20点
3. 展示の機能性	- 映像を視聴する際の操作は安全かつ容易に行えるものか - 提案された展示什器や映像作品は、高齢者・子供・障害者・外国人など、多様な利用者にとって使いやすいユニバーサルデザインとなっているか - 機器のプログラム設計は当館職員の業務を効率化する設計がされているか	15点
4. 展示の安全性	- AV機器について、光源の方向など博物館資料の保護への配慮はされているか - 耐震や避雷など、災害時の安全性は担保されているか - 転倒などの恐れに配慮されているか	10点
5. 体制・進行管理能力	- 事業所の体制やメンバーの技量は提案に対して十分か - 施工期間に対して妥当な提案であるか - 複数事業所による共同応募の場合、業務分担は明確で妥当か	15点
6. 協議対応性・柔軟性	- 当館や他事業所と円滑なコミュニケーションをとることができるか - 状況に応じて柔軟に提案や調整を行うことができるか(過去の実績と質疑応答に基づいて評価する)	10点
7. 見積の妥当性・明確性	- 項目別内訳は明確か - 価格と提案内容は整合性があるか - 保守費用は妥当か。ランニングコストの低減は検討されているか	10点
合計		100点

(1) 観覧性

- ・映像機器は多くの人々に見やすい仕様になっているか
- ・観覧者が鑑賞する際の動線は配慮されているか

(2) 機能性

- ・映像を視聴する際の操作は安全かつ容易に行えるものか
- ・高齢者・子供・障害者・外国人への対応ができているか

(3) 安全性

- ・博物館資料に対する安全性への配慮されているか
- ・耐震性は担保されているか

(4) 経済性

- ・適切な改修規模か
- ・ランニングコストの低減は検討されているか